

第2号様式（第6条関係）

戸田市中心企業振興会議提言への回答書

戸田市中心企業振興会議 御中

戸田市長 菅原 文仁

令和7年4月30日付けで、貴会議より提言いただいた内容について検討を行ったところ、下記のとおりとなりましたので、戸田市中心企業振興会議提言処理要領第6条の規定に基づき回答します。

記

提言テーマ	1. 雇用・人材確保	
回答の要旨	柱1 人材確保・育成	
	施策1 有資格者、技術・技能者育成支援	①ポリテクセンター埼玉との連携（シニア雇用促進も含む連携） <u>令和9年度からの連携事業実施に向け、今年度から来年度にかけてポリテクセンターとの調整を行っていきます。</u> ②公的機関による訓練や技能検定への支援 <u>今年度中に、現在実施している「公的資格等取得支援事業補助金」、「求職者公的資格等取得支援事業」の内容見直しと周知拡大を図っていきます。</u>
回答の要旨	施策2 求人活動支援	③埼玉労働局との「戸田市雇用対策協定」に基づき、求職者へのPR強化やマッチング支援の拡充 <u>戸田市雇用対策協定に基づく事業計画において、人手不足業界等の人材確保支援の強化や拡充を検討し、調整を行っていきます。</u>

		④求人誌や求人サイトへの掲載、人材紹介サービス活用促進支援 <u>求人誌、求人サイトへの掲載料や人材紹介サービス利用料の一部補助を含めた市内企業への就職支援策について調査・研究を行っていきます。</u>
	施策 3 市内企業への就職者支援	⑤埼玉県中小企業等奨学金返還支援事業補助金の上乗せ支援 <u>「奨学金返還支援補助金」の創設に向け、今年度中に制度設計を行う予定です。</u> ⑥既卒者を含む新卒募集及び定着への支援 <u>新卒者の定着や人材育成の一環として、来年度以降、「市内企業の新卒者向け合同研修会・交流会」の開催に向け関係機関と調整を行う予定です。</u> <u>なお、既卒者の定着も含めた奨励金については、前述⑤の効果検証を行った上で、さらに拡充する必要がある場合には、次のステップとして調査・研究を行っていきます。</u>
回答の要旨	柱 2 企業イメージ向上	
	施策 1 認知度向上への機会創出	⑦合同説明会の開催 <u>昨年度、職種別（介護・医療）合同説明会・面接会を初めて実施しており、今年度以降さらに職種や参加者を拡大して実施できるよう調整したいと考えます。</u> ⑧職種別お仕事見学会、体験会の実施 <u>保育・介護業界以外の人手不足業界の見学会等を検討します。</u> ⑨県内広告への働きかけと交流機会の創出 <u>今年度「県内高等学校進路指導担当教諭と市内企業との意見交換会」を初めて実施し、来年度以降は専門学校等も含めさらに働きかけを強化します。</u>

	施策 2 優良な雇用管理・社会貢献 実践企業の可視化推進	⑩多様な働き方実践企業認定促進 ⑪SDGs パートナー制度認定促進 ⑫優良な雇用管理や社会貢献に対し、企業がやる気をもって取り組める施策検討 <u>(⑩～⑫回答)「多様な働き方実践企業」、「埼玉県 SDGs パートナー」及び「とだ SDGs パートナー」のいずれかもしくは複数の認定を受けた事業者に対するインセンティブを検討します。</u> ⑬市による各種認定企業の PR <u>SDGs パートナー動画や認定企業の取組を市公式チャンネル以外の媒体でも放映・発信し、PR の拡大を図ります。</u>
回答の要旨	柱 3 業務効率化・生産性向上	
	施策 1 DX 化の機運醸成	⑭関連機関との連携による DX 推進セミナーの開催 <u>商工会、埼玉県 DX 推進支援ネットワーク、ポリテクセンター、包括連携協定締結団体等との連携により DX 推進セミナーを今年度中に 1 回、以降年に 2 回程度開催します。</u> ⑮DX 等の活用に関する事例集の作成及び情報発信 <u>これまでの DX 伴走支援事業の取組や DX 推進補助金における補助対象事業を事例集としてまとめ、今年度中に市ホームページにて情報発信していきます。</u>
	施策 2 市内企業 DX 化への支援	⑯DX 推進補助金等による支援 <u>今年度より審査制を廃止し、通年申請を可能としております。今後もより手軽に広く活用いただけるよう適宜制度の見直しを行っていきます。</u> ⑰AI・SNS 等の活用に対する支援 <u>商工会、ポリテクセンター、包括連携協定締結団体等との連携により、採用や省力化に向けた AI や SNS の活用方法に関するセミナーを、来年度以降に開催したいと考えます。</u>

		⑩関連団体（埼玉県 DX 推進支援ネットワーク等）との連携 <u>市の補助金情報を同団体ホームページにて掲載するとともに、同団体が実施する専門家派遣・相談等のサービスを市内企業が活用できるよう、あらゆる機会や媒体において周知を行っていきます。</u>
回答の要旨	柱 4 職場環境改善	
	施策 1 職場環境の快適化に向けた支援	⑪トイレ、更衣室等のリフォームに係る費用の補助等 （女性職場環境整備補助金の類似制度の創設） <u>現在、各種補助金の見直しや整理に向けた検討を進めていることから、今後の検討課題として調査・研究を進めていきます。なお、埼玉県では女性ドライバーの確保に向け、女性更衣室等の環境整備に対し補助する「運送事業者環境整備補助金」事業を実施しており、市内事業者へ周知します。</u>

提言テーマ	2. 事業承継
回答の要旨	1 法人市民税の封筒を活用した情報発信 全事業所に届く法人市民税の封筒を活用し、事業承継等の情報を掲載したチラシを同封し、「考えるきっかけ」を創出する。また、少しでも「事業承継」の文字が読み手の目に留まるよう工夫する。 <u>今年10月以降発送分の法人市民税の封筒に事業承継に関するチラシを同封し、情報発信を行っていきます。</u> 2 個別相談・セミナーの開催 事業承継・引継ぎ支援センターが戸田市商工会で毎月開催している個別相談会を、戸田市役所でも開催する。また、各種団体向けにセミナー等を企画し、考える場づくりの提供を検討する。 <u>事業承継・引継ぎ支援センター及び商工会等と連携し、特定の団体を対象とした事業承継セミナー兼個別相談会を、今年度中に市役所において試験的に実施し、効果検証等を行った上で、来年度以降の実施手法を検討したいと考えます。</u>

	3 補助金創設の検討・申請時の情報収集 事業承継に係る補助金の新規創設を検討する。また、補助金申請時に60歳以上の代表者に対しては後継者に係るアンケートに答えていただく等、情報収集の仕組みを検討する。 <u>現在、各種補助金の見直しや整理に向けた検討を進めていることに加え、他自治体における利用実績が少なかったことから、直近での実施は行わず、今後の検討課題として調査・研究したいと考えます。</u> 4 企業訪問相談員制度の検討 5つのキーワード（①情報発信・収集、②考えるきっかけ、③信頼関係の構築、④掘り起こし、⑤伴走支援）に対応する総合支援として、専門の資格を持った相談員が市内企業を訪問・巡回し、市内事業者が抱える経営課題全般に対応する支援を検討する。 <u>埼玉県商工会連合会等でも経営全般に関する専門家派遣事業を実施していますが、無償または低額で実施する訪問相談は回数制限があり、信頼関係の構築が困難と思われます。事業承継ニーズの掘り起こしには信頼関係の構築が不可欠であることから、商工会や専門機関等と連携し、企業の信頼を得られる相談体制の確立について、来年度以降の実施に向け、手法の検討・調整を行っていきたいと考えます。</u>
--	---

提言テーマ	3. 個別提言
回答の要旨	1 当会議の役割として、戸田市を取りまくさまざまな人びとを惹きつけ、ここで暮らし、働きたいと思えるような市にするための、創意工夫を話し合う場にしたい。 例えば、前期の課題 CSR（企業の社会的責任）を SDGs（持続可能な開発目標）として発展的に継承し、世界にアピールできるような先駆的かつ大胆な取り組みを期待します。 また、戸田ペイ、戸田オールのような戸田市の資産を有効に活用し、事業者や市民の創意を引き出す制度設計が必要です。

	<u>本個別提言については、第5次総合振興計画の基本目標5「活力あふれ人が集い心ふれあるまち」を実現するにあたり大変意義深い提言であり、本市が保有する資産にさらに磨きをかけ、かつSDGsの目標達成にも資する取組を推進することで、事業活動がしやすい環境づくりを構築し、本市における起業・就労・居住の意欲向上につながるものと期待されます。</u> <u>つきましては、本提言を具現化するための取組やアイデアについて、貴会議にて引き続き検討されたい。</u>
--	--